

大腸CT検査

新しい大腸の検査法
大腸CT検査のご案内

〔大腸内視鏡検査が苦手な方に特におすすめです〕

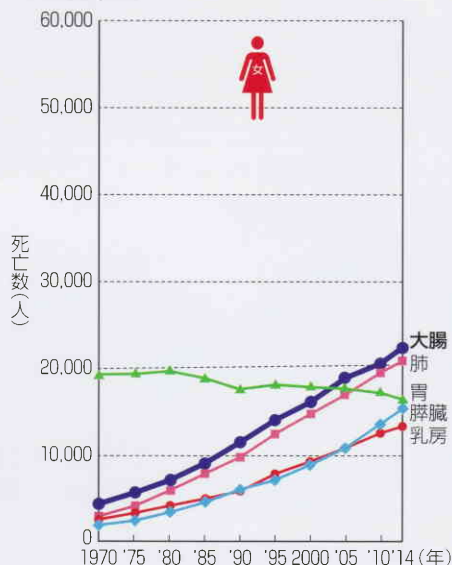
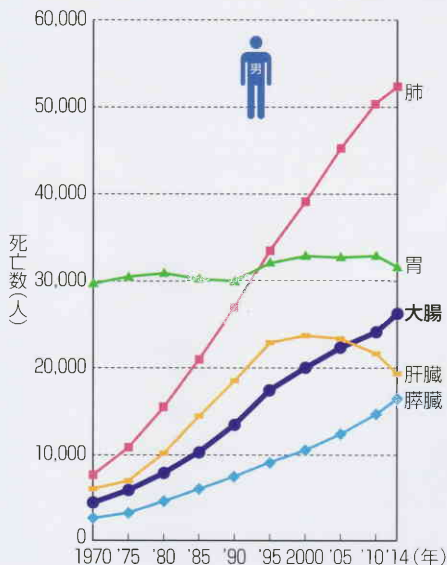


大腸がんは、早期に発見すれば、ほとんど治ります。
しかし、自覚症状のないまま進行することが多く、
早期発見には大腸CTなどの検査が有用です。

『大腸がん』の死亡率

近年、がんの中でも「大腸がん」で亡くなる人が増え続け、平成26年の調査では、女性のがん死亡原因第1位、男性のがん死亡原因第3位になっています。しかし、大腸がんは早期発見・早期治療を行えば100%近く治ります。

◆主ながんによる死亡数◆



出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」

◆大腸がんの5年生存率◆

臨床病期	早期がん	進行がん		
		リンパ節転移なし	リンパ節転移あり	他の臓器にも転移あり
生存率 (%)	99.0	90.8	81.6	18.1

出典：全国がん協加盟施設の生存率協同調査(2004～2007年相対生存率)

大腸CT検査とは

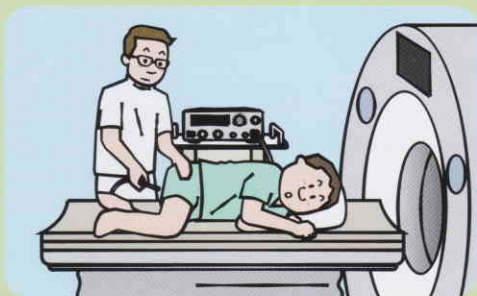
新型のマルチスライスCTを利用した新しい大腸の検査法です。大腸内視鏡検査のように内視鏡を入れたり、注腸X線検査のように肛門からバリウムを注入したりせず、あたかも大腸を内視鏡で観察したり、X線写真を撮ったかのように調べることができます。

大腸CT検査は、高精度で、しかも大腸内視鏡検査や注腸X線検査と比べると、楽に短時間で検査をすることができます。

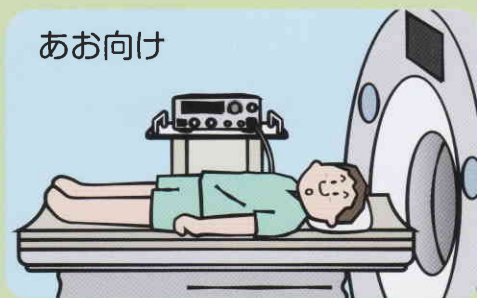
大腸CT検査の実際

- ① 検査前日または当日にお薬(下剤や造影剤など)を飲んで腸の中をきれいにします。
- ② 検査着に着替えて検査室(CT室)に入り、検査台に横になります。

- ③ 細いチューブを肛門から数cm入れ、炭酸ガスあるいは空気を注入して大腸を膨らませます。



- ④ CT撮影をします。うつ伏せとおお向けで、それぞれ約10秒間撮影を行います。



- ⑤ チューブを抜き、検査終了です。
- ⑥ 撮影した画像をもとに仮想大腸内視鏡像・注腸類似像などを作成し診断します。(4ページ参照)

大腸CT検査の長所

- 他の大腸検査に比べてお腹にやさしい検査です。
- 内視鏡では観察しづらい、大腸のひだや曲がり角の裏などの観察に優れています。
- 検査が短時間で終わります。
(検査室に入ってから10～15分程度)
- 下剤や腸管洗浄剤の服用量を減らすことができます。
- 鎮静剤や鎮痛剤の注射をする必要がありません。
- 大腸に穴が開くなどの偶発症(事故)が極めてまれです。
- ポリープの大きさや位置が正確にわかります。
- 腸がゆるんでいる方や腸が長い方でも検査が可能です。

大腸CT検査の短所

- ✕ 5ミリ以下のポリープや平らな病変を見つける能力は内視鏡検査に比べて劣っています。
- ✕ 細胞の検査やポリープの切除などの治療はできません。(治療のために内視鏡検査をお受けいただく必要があります)
- ✕ 最低限の医療X線被ばくがあります。

大腸CTの画像

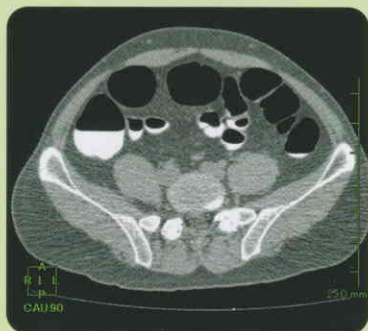


図1 断層画像



図2 仮想大腸内視鏡像
(大腸ポリープ)



図3 注腸類似像

マルチスライスCT装置でえられた画像データ(図1)から、仮想大腸内視鏡像(図2)や注腸類似像(図3)を作成し、大腸の3次元診断を行います。

従来の内視鏡検査および注腸X線検査による画像

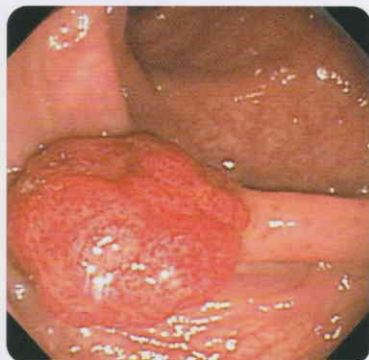


図4 大腸内視鏡像
(大腸ポリープ)

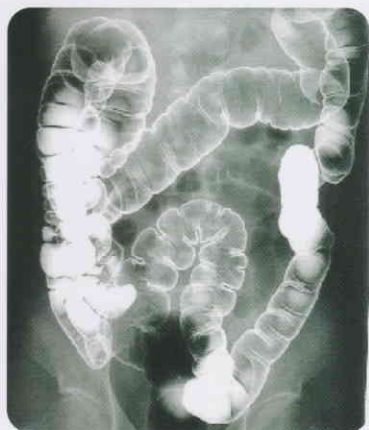


図5 注腸X線像

Q & A

Q 大腸CT検査でどんな病気がわかりますか？

A 大腸ポリープや大腸がんなどの病気がわかります。

Q 普段から便秘気味です。検査の前に飲む下剤が効くかどうか心配です。

A 内視鏡検査と異なり、便を完全に出す必要はありません。前処置のお薬をきちんと飲んでいただければ、大腸CT検査で診断することが可能です。

Q 忙しいのですが、検査前のお薬は飲まなければなりませんか？

A お薬をきちんと飲んでいただかないと、正確な検査ができなくなります。この場合、便がポリープのように見えてしまうため(偽陽性と言います)精度が下がります。

Q 肛門が痛いのですが(あるいは痔があるのですが)、大腸CT検査を受けられますか？

A お尻から細いチューブを入れて検査をしますが、ゼリーを十分につけて痛みを感じないように工夫しています。
※ただし、直腸脱や重度の内痔核をお持ちの場合は検査が難しい場合があります。肛門に自覚症状がある方は、事前に医師にご相談ください。

Q 検査のあと、すぐに日常生活は出来ますか？

A 大腸CT検査では、鎮静剤や鎮痛剤を使用いたしません。そのため、すぐに日常生活にもどることが可能です。ただし、検査当日は運動や肉体労働など、お体に負担になることはさけてください。